

おまかせ運用インフレヘッジ・ファンド (世界の实物資産中心)

運用報告書 (全体版)

第8期 (決算日 2025年1月31日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。
さて、「おまかせ運用インフレヘッジ・ファンド (世界の实物資産中心)」は、2025年1月31日に第8期の決算を行いました。
ここに作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/内外/資産複合	
信託期間	原則として、無期限です。(設定日: 2017年3月1日)	
運用方針	「おまかせ運用インフレヘッジ・ファンド (世界の实物資産中心)」は、マザーファンド受益証券へ投資を行います。以下はマザーファンドである「THEO リアルアセット・マザーファンド (世界の实物資産中心)」の運用方針です。 ①主として世界の上場投資信託証券 (ETF) に投資することにより、リスクの低減を図りつつ、世界の实物資産への投資と経済的に同様な効果を得る投資をすることを目指します。 ②組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。 ③資金動向、市況動向、残存信託期間等によっては、上記のような運用ができない場合もあります。	
主要運用対象	ベビーファンド	THEO リアルアセット・マザーファンド (世界の实物資産中心) 受益証券を主要な投資対象とします。
	マザーファンド	世界の株式市場に上場されている投資信託証券 (ETF) を主要な投資対象とします。
組入制限	ベビーファンド	①上場投資信託証券 (ETF) への実質投資割合には制限を設けません。 ②外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
	マザーファンド	①投資信託証券 (ETF) への実質投資割合には制限を設けません。 ②外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎年1月31日 (休業日の場合は翌営業日) に決算を行い、収益分配方針に基づき収益分配を行います。ただし、必ず分配を行うものではありません。	



東京都中央区新川1丁目17番21号

<照会先>

電話番号: 03-6629-7090

(受付時間: 委託会社の営業日の9:30~17:00)

ホームページ: <https://www.money-design.com/>

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 (分配落)	価 額			投 資 信 託 証 組 入 比 率	純 資 産 総 額
		税 分 込 配 金	期 騰 落	中 率		
	円	円		%		百万円
4期(2021年2月1日)	10,365	0	△ 3.8	99.9		165
5期(2022年1月31日)	12,677	0	22.3	99.6		270
6期(2023年1月31日)	14,365	0	13.3	99.5		377
7期(2024年1月31日)	16,191	0	12.7	99.2		505
8期(2025年1月31日)	19,160	0	18.3	98.8		679

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) 当ファンドの運用方針に対して適切に比較できる指数がないため、ベンチマークならびに参考指数は表示しておりません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		投 資 信 託 証 組 入 比 率
		騰 落	率	
(期 首) 2024年1月31日	円		%	%
	16,191		—	99.2
2月末	16,457		1.6	99.0
3月末	17,266		6.6	98.8
4月末	17,705		9.4	99.3
5月末	17,939		10.8	99.3
6月末	18,497		14.2	99.0
7月末	18,213		12.5	99.2
8月末	17,834		10.1	99.2
9月末	18,086		11.7	98.9
10月末	19,382		19.7	99.4
11月末	19,045		17.6	98.4
12月末	19,029		17.5	98.2
(期 末) 2025年1月31日	円		%	%
	19,160		18.3	98.8

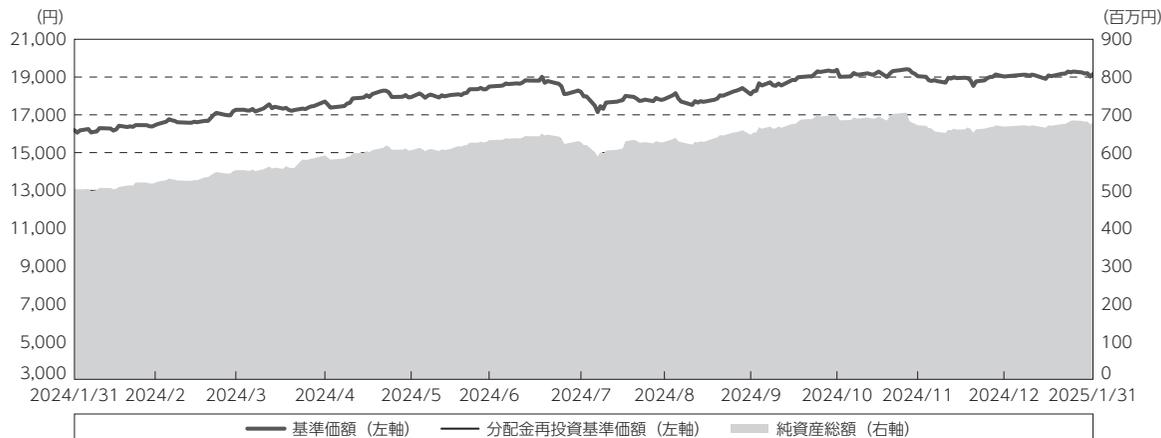
(注) 騰落率は期首比です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

○運用経過

（2024年2月1日～2025年1月31日）

期中の基準価額等の推移



期首：16,191円

期末：19,160円(既払分配金(税込み)：0円)

騰落率：18.3%(分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額は、期首(2024年1月31日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 当ファンドの運用方針に対して適切に比較できる指数がないため、ベンチマークならびに参考指数は表示していません。

○基準価額の主な変動要因

当期、当ファンドの基準価額は、+18.3%となりました。

当ファンドは、「THEO リアルアセット・マザーファンド（世界の実物資産中心）」受益証券を組み入れることにより実質的な運用を当該マザーファンドにおいて行っております。

当ファンドでは為替ヘッジを行っていないことから、為替相場の変動が基準価額に反映されます。1ドル147円台で取引を開始した当期の為替市場は、2024年7月まで円安基調で推移し161円台後半までドル高円安が進みましたが、その後は9月に140円台半ばの円高となるなど値動きの激しい展開となり、1ドル154円台で期末を迎えました。このことが基準価額にプラス寄与しました。ファンドで組み入れているETFの米ドルベースのリターンは、クリーン・エネルギー関連や米国以外の不動産関連株式がマイナスとなりましたが、それ以外はプラスとなりました。為替の効果を考慮した基準価額への寄与度という点では、クリーン・エネルギー関連株式のETF以外はすべてプラス寄与となっており、組み入れ比率が高い金や米国不動産関連株式のETFの寄与度が比較的大きくなりました。

投資環境

当期の世界株式市場および現物資産市場は、米中をはじめとした主要国の景気動向や金融政策に反応する展開が継続しました。また、ウクライナや中東などにおける地政学リスクも引き続き強く意識されたほか、米中対立の動向や米国大統領選挙など政治イベントも市場を動かす要因となりました。

不動産、インフラ関連株式の米ドルベースのリターンは、各国中央銀行の金融政策などを織り込みながら、地域・国ごとにややまちまちな動きとなりましたが、米国の長期金利が低下した2024年4月から9月ごろにかけて米国の不動産関連株式やインフラ関連株式が大きく上昇したことなどから全体としては通期でプラスとなりました。

貴金属は、地政学リスクの高まりや米国大統領選挙の動向およびトランプ新政権の政策に関する不透明感などを背景にリスク回避的な資金が流入したことなどから上昇しました。

エネルギー関連株式は、原油価格が米国や中国などの景気見通しや、産油国の減産計画、中東やウクライナにおける地政学リスクの状況などを織り込みながら不安定な推移となるなか、方向感に欠ける展開となりました。米国大統領選挙でトランプ氏が勝利すると、米国の石油・ガス関連株式などが上昇した一方、代替エネルギー関連株式は軟調な展開となりました。米国物価連動国債は通期で若干プラスのリターンとなりました。

当ファンドのポートフォリオ

当ファンドは、「THE0 リアルアセット・マザーファンド（世界の実物資産中心）」受益証券への投資を通じ、主として世界のETFに投資することで、実質的に世界の実物資産等へ分散投資を行います。

当ファンドの目的は、世界の実物資産への投資を通じ、投資信託財産の資産価値を保全しつつ、着実に成長させることです。これに向けて、定期的に評価基準にもとづいてETFを選定し、検証を重ねたアルゴリズムにより配分を変更します。当期もそのように運用を行いました。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは、運用方針に対して適切に比較できる指数がないため、ベンチマークならびに参考指数は設定しておりません。

分配金

当期の分配金は、長期的な投資信託財産の成長を追求する観点から無分配とさせていただきます。また、収益分配に充てなかった利益につきましては信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり・税込み）

項 目	第8期
	2024年2月1日～ 2025年1月31日
当期分配金 (対基準価額比率)	— —%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	9,160

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

引き続き、「THE0 リアルアセット・マザーファンド（世界の实物資産中心）」受益証券への投資を通じ、主として世界のETFに投資することで、実質的に世界中の实物資産への投資と経済的に同様な効果を得ることを目指します。定期的に評価基準に基づいてETFを選定し、組入比率を調整して参ります。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2024年 2 月 1 日～2025年 1 月31日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	79	0.440	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(64)	(0.358)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	(10)	(0.055)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	(5)	(0.027)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	5	0.028	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
（ 投 資 信 託 証 券 ）	(5)	(0.028)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有 価 証 券 取 引 税	0	0.001	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数
（ 投 資 信 託 証 券 ）	(0)	(0.001)	有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) そ の 他 費 用	38	0.209	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(18)	(0.098)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(6)	(0.035)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	(14)	(0.076)	その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	122	0.678	
期中の平均基準価額は、17,970円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

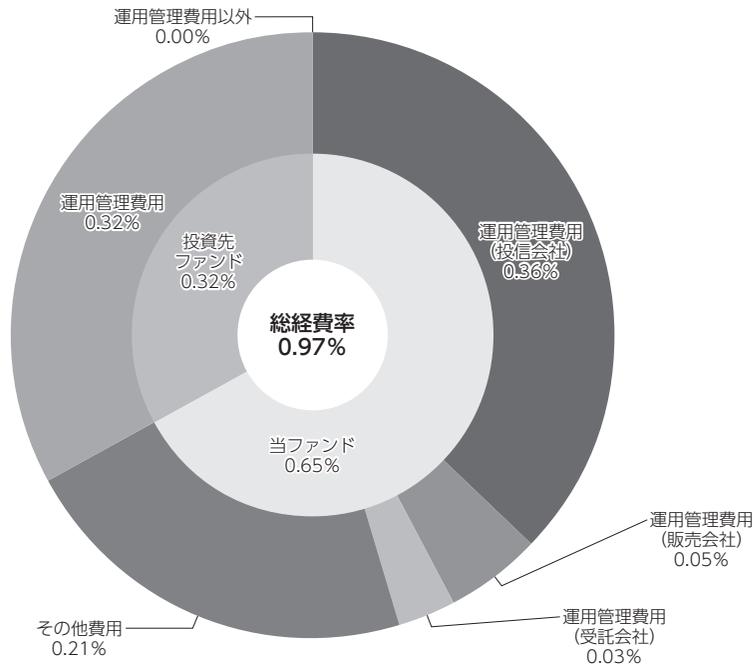
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.97%です。



(単位：%)

総経費率(①+②+③)	0.97
①当ファンドの費用の比率	0.65
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.32
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.00

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドの親投資信託が組み入れている投資信託証券です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2024年2月1日～2025年1月31日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
THEO リアルアセット・マザーファンド（世界の実物資産中心）	千口 74,336	千円 138,090	千口 35,354	千円 67,899

○利害関係人との取引状況等

(2024年2月1日～2025年1月31日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2024年2月1日～2025年1月31日)

該当事項はございません。

○組入資産の明細

(2025年1月31日現在)

親投資信託残高

銘柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口数	口数	評価額
THEO リアルアセット・マザーファンド（世界の実物資産中心）	千口 300,989	千口 339,970	千円 679,805

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2025年1月31日現在)

項 目	当 期 末	
	評価額	比率
THEO リアルアセット・マザーファンド（世界の実物資産中心）	千円 679,805	% 99.5
コール・ローン等、その他	3,258	0.5
投資信託財産総額	683,063	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

(注) THEO リアルアセット・マザーファンド（世界の実物資産中心）において、当期末における外貨建純資産（700,080千円）の投資信託財産総額（709,590千円）に対する比率は98.7%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=154.43円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2025年1月31日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	683,063,884
コール・ローン等	2,122,455
THEO リアルアセット・マザーファンド （世界の実物資産中心）（評価額）	679,805,899
未収入金	1,135,530
(B) 負債	3,257,985
未払解約金	1,432,151
未払信託報酬	1,460,702
その他未払費用	365,132
(C) 純資産総額（A－B）	679,805,899
元本	354,799,912
次期繰越損益金	325,005,987
(D) 受益権総口数	354,799,912口
1万口当たり基準価額（C／D）	19,160円

（注）当ファンドの期首元本額は312,453,676円、期中追加設定元本額は82,259,953円、期中一部解約元本額は39,913,717円です。

（注）1口当たり純資産額は1.9160円です。

○損益の状況（2024年2月1日～2025年1月31日）

項 目	当 期
	円
(A) 有価証券売買損益	95,796,123
売買益	104,002,296
売買損	△ 8,206,173
(B) 信託報酬等	△ 3,404,618
(C) 当期損益金（A＋B）	92,391,505
(D) 前期繰越損益金	111,897,747
(E) 追加信託差損益金	120,716,735
（配当等相当額）	（ 92,370,460）
（売買損益相当額）	（ 28,346,275）
(F) 計（C＋D＋E）	325,005,987
(G) 収益分配金	0
次期繰越損益金（F＋G）	325,005,987
追加信託差損益金	120,716,735
（配当等相当額）	（ 92,579,903）
（売買損益相当額）	（ 28,136,832）
分配準備積立金	204,289,252

（注）損益の状況の中で(A)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

（注）損益の状況の中で(B)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

（注）損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

（注）計算期間末における費用控除後の配当等収益（12,504,943円）、費用控除後の有価証券等損益額（79,886,562円）、信託約款に規定する収益調整金（120,716,735円）および分配準備積立金（111,897,747円）より分配対象収益は325,005,987円（1万口当たり9,160円）ですが、当期に分配した金額はありません。

○分配金のお知らせ

1万口当たり分配金（税込み）	0円
----------------	----

○お知らせ

該当事項はございません。

THEO リアルアセット・マザーファンド （世界の実物資産中心）

運用報告書

第8期（決算日 2025年1月31日）
（2024年2月1日～2025年1月31日）

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	原則として、無期限です。（設定日：2017年3月1日）
運用方針	①主として世界の投資信託証券（ETF）に投資することにより、リスクの低減を図りつつ、世界の実物資産への投資と経済的に同様な効果を得る投資をすることを目指します。 ②組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。 ③資金動向、市況動向、残存信託期間等によっては、上記のような運用ができない場合もあります。
主要運用対象	世界の株式市場に上場されている投資信託証券（ETF）を主要な投資対象とします。
組入制限	①投資信託証券（ETF）への実質投資割合には制限を設けません。 ②外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

 お金のデザイン

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準	価 額		投 資 信 託 純 資 産 額	投 証 組 入 比 率	託 券 率	純 資 産 額
		期 騰 落	中 率				
	円		%			%	百万円
4期(2021年2月1日)	10,587	△ 3.3		99.9			165
5期(2022年1月31日)	13,019	23.0		99.6			270
6期(2023年1月31日)	14,834	13.9		99.5			379
7期(2024年1月31日)	16,808	13.3		99.2			517
8期(2025年1月31日)	19,996	19.0		98.8			708

(注) 当ファンドの運用方針に対して適切に比較できる指数がないため、ベンチマークならびに参考指数は表示しておりません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		投 証 組 入 比 率	託 券 率
		騰 落	率		
(期 首) 2024年1月31日	円		%		%
	16,808		—		99.2
2月末	17,091		1.7		99.0
3月末	17,939		6.7		98.7
4月末	18,403		9.5		99.1
5月末	18,655		11.0		99.1
6月末	19,242		14.5		98.8
7月末	18,957		12.8		99.2
8月末	18,571		10.5		99.1
9月末	18,842		12.1		98.8
10月末	20,200		20.2		99.3
11月末	19,858		18.1		98.3
12月末	19,850		18.1		98.0
(期 末) 2025年1月31日		19,996	19.0		98.8

(注) 騰落率は期首比です。

○運用経過

(2024年2月1日～2025年1月31日)

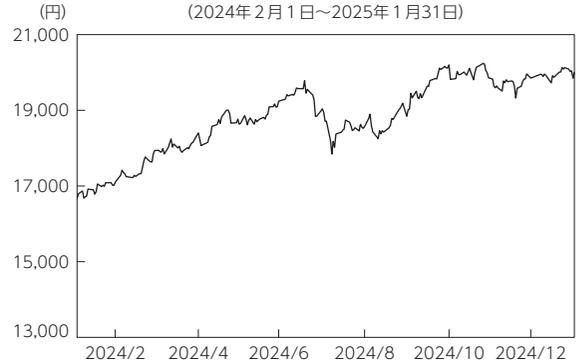
期中の基準価額等の推移

○基準価額の主な変動要因

当期、当ファンドの基準価額は、+19.0%となりました。

当ファンドでは為替ヘッジを行っていないことから、為替相場の変動が基準価格に反映されます。1ドル147円台で取引を開始した当期の為替市場は、2024年7月まで円安基調で推移し161円台後半までドル高円安が進みましたが、その後は9月に140円台半ばの円高となるなど値動きの激しい展開となり、1ドル154円台で期末を迎えました。このことが基準価格にプラス寄与しました。ファンドで組み入れているETFの米ドルベースのリターンは、クリーン・エネルギー関連や米国以外の不動産関連株式がマイナスとなりましたが、それ以外はプラスとなりました。為替の効果を考慮した基準価額への寄与度という点では、クリーン・エネルギー関連株式のETF以外はすべてプラス寄与となっており、組み入れ比率が高い金や米国不動産関連株式のETFの寄与度が比較的大きくなりました。

【基準価額の推移】



投資環境

当期の世界株式市場および現物資産市場は、米中をはじめとした主要国の景気動向や金融政策に反応する展開が継続しました。また、ウクライナや中東などにおける地政学リスクも引き続き強く意識されたほか、米中対立の動向や米国大統領選挙など政治イベントも市場を動かす要因となりました。

不動産、インフラ関連株式の米ドルベースのリターンは、各国中央銀行の金融政策などを織り込みながら、地域・国ごとにややまちまちな動きとなりましたが、米国の長期金利が低下した2024年4月から9月ごろにかけて米国の不動産関連株式やインフラ関連株式が大きく上昇したことなどから全体としては通期でプラスとなりました。

貴金属は、地政学リスクの高まりや米国大統領選挙の動向およびトランプ新政権の政策に関する不透明感などを背景にリスク回避的な資金が流入したことなどから上昇しました。

エネルギー関連株式は、原油価格が米国や中国などの景気見通しや、産油国の減産計画、中東やウクライナにおける地政学的リスクの状況などを織り込みながら不安定な推移となるなか、方向感に欠ける展開となりました。米国大統領選挙でトランプ氏が勝利すると、米国の石油・ガス関連株式などが上昇した一方、代替エネルギー関連株式は軟調な展開となりました。米国物価連動国債は通期で若干プラスのリターンとなりました。

当ファンドのポートフォリオ

当ファンドは、主として世界のETFに投資することで、実質的に世界の实物資産等へ分散投資を行います。当ファンドの目的は、世界の实物資産への投資を通じ、投資信託財産の資産価値を保全しつつ、着実に成長させることです。これに向けて、定期的に評価基準にもとづいてETFを選定し、検証を重ねたアルゴリズムにより配分を変更します。当期もそのように運用を行いました。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは、運用方針に対して適切に比較できる指数がないため、ベンチマークならびに参考指数は設定しておりません。

○今後の運用方針

引き続き、主として世界のETFに投資することで、実質的に世界中の実物資産への投資と経済的に同様な効果を得ることを目指します。定期的に評価基準に基づいてETFを選定し、組入比率を調整して参ります。

○1万口当たりの費用明細

(2024年2月1日～2025年1月31日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (投 資 信 託 証 券)	円 5 (5)	% 0.028 (0.028)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (投 資 信 託 証 券)	0 (0)	0.001 (0.001)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	18 (18) (0)	0.098 (0.098) (0.000)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	23	0.127	
期中の平均基準価額は、18,701円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2024年2月1日～2025年1月31日)

投資信託証券

銘柄		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
外国	アメリカ	口	千米ドル	口	千米ドル
	ISHARES GOLD TRUST	5,792	261	8,328	391
	ISHARES TIPS BOND ETF	6,249	672	4,068	434
	ISHARES 1-3 YEAR TREASURY BO	2,914	237	187	15
	ISHARES US REAL ESTATE ETF	4,166	375	1,592	154
	ISHARES GLOBAL CLEAN ENERGY	4,102	54	2,054	29
	ISHARES GLOBAL INFRASTRUCTUR	2,531	125	1,174	62
	ISHARES SILVER TRUST	1,358	36	2,153	57
	SPDR DJ INTERNATIONAL REAL E	1,566	39	1,724	44
	ENERGY SELECT SECTOR SPDR	974	87	1,088	98
小計	29,652	1,889	22,368	1,287	

(注) 金額は受け渡し代金。

○利害関係人との取引状況等

(2024年2月1日～2025年1月31日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2025年1月31日現在)

外国投資信託証券

銘柄	期首(前期末)		当 期 末		比 率	
	口 数	口 数	評 価 額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
(アメリカ)	口	口	千米ドル	千円	%	
ISHARES GOLD TRUST	15,397	12,861	678	104,787	14.8	
ISHARES TIPS BOND ETF	8,693	10,874	1,173	181,243	25.6	
ISHARES 1-3 YEAR TREASURY BO	—	2,727	224	34,650	4.9	
ISHARES US REAL ESTATE ETF	11,453	14,027	1,332	205,852	29.1	
ISHARES GLOBAL CLEAN ENERGY	7,449	9,497	108	16,734	2.4	
ISHARES GLOBAL INFRASTRUCTUR	7,776	9,133	492	76,133	10.7	
ISHARES SILVER TRUST	6,720	5,925	170	26,278	3.7	
SPDR DJ INTERNATIONAL REAL E	3,929	3,771	90	14,005	2.0	
ENERGY SELECT SECTOR SPDR	2,986	2,872	258	39,988	5.6	
合 計	口 数 ・ 金 額	64,403	71,687	4,530	699,675	
	銘 柄 数 < 比 率 >	8	9	—	< 98.8% >	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

○投資信託財産の構成

(2025年1月31日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 699,675	% 98.6
コール・ローン等、その他	9,915	1.4
投資信託財産総額	709,590	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

(注) 当期末における外貨建純資産（700,080千円）の投資信託財産総額（709,590千円）に対する比率は98.7%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=154.43円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2025年1月31日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	709,590,425
コール・ローン等	9,914,621
投資信託受益証券(評価額)	699,675,804
(B) 負債	1,135,530
未払解約金	1,135,530
(C) 純資産総額(A-B)	708,454,895
元本	354,300,828
次期繰越損益金	354,154,067
(D) 受益権総口数	354,300,828口
1万口当たり基準価額(C/D)	19,996円

(注) 当ファンドの期首元本額は308,163,786円、期中追加設定元本額は82,540,660円、期中一部解約元本額は36,403,618円です。

(注) 2025年1月31日現在の元本の内訳は以下の通りです。

- ・おまかせ運用インフレヘッジ・ファンド(世界の实物資産中心) 339,970,944円
- ・THEOベスト・バランス・ファンド 14,329,884円

(注) 1口当たり純資産額は1.9996円です。

○損益の状況（2024年2月1日～2025年1月31日）

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	13,341,021
受取配当金	13,305,599
受取利息	35,422
(B) 有価証券売買損益	94,102,951
売買益	98,712,473
売買損	△ 4,609,522
(C) 保管費用等	△ 624,574
(D) 当期損益金(A+B+C)	106,819,398
(E) 前期繰越損益金	209,811,135
(F) 追加信託差損益金	70,988,049
(G) 解約差損益金	△ 33,464,515
(H) 計(D+E+F+G)	354,154,067
次期繰越損益金(H)	354,154,067

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○お知らせ

該当事項はございません。